平成24年度文部科学省

成長分野等における中核的専門人材養成の戦略的推進事業

オフショア開発PBL <学生用課題説明書>

ブリッジSEの中核的専門人材養成のための 実践的カリキュラムの構築推進プロジェクト

学校法人浦山学園 富山情報ビジネス専門学校

目 次

1.	受講にあたって・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2.	説明会と実習環境構築 課題説明・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6
3.	インシデントと作業の評価 課題説明・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	8
4.	成果発表 課題説明・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	11
5.	JIRA Confluence サーバ構築手順書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	13
6.	メールサーバ構築手順書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	29
7.	Sococo 構築手順書 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	35
8.	インシデント対応説明書(概要編)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	41
9.	インシデント対応説明書(国内開発(学生)編) ・・・・・・・・・・・・・	47
10.	インシデント対応説明書(シナリオ概要)・・・・・・・・・・・・・・・・・	59
11.	インシデント対応説明書(評価方法と指標について)・・・・・・・・・・・	63

受講にあたって

受講にあたって

目次

1.	PBLの概要と目的	•••	3
2.	授業の構成	•••	5
З.	PBLの進め方	•••	8
4.	プロジェクト健全性の評価	•••	9
5.	学生の理解度評価	•••	10



- 本PBLは、国内の中堅IT会社(以下、元請会社)が海外の開発委託先のソフトウェア会社(以下、 オフショア会社)と共同で、国内の顧客から受注した中堅企業の販売管理システム構築プロ ジェクトに参加している事を想定している。あなたの役割は元請会社の社員として、オフショ ア会社の開発の管理と発生する問題への対応を通して必要な技術を学習する。
- この作業を行う為に、リーダーとなる1名のブリッジSEと1~2名の共同作業者がチームとなっ て1グループを構成する。グループ毎に開発フェーズ、結合テストフェーズそして、納品 フェーズと発生する問題への対処を行いながら進めていく。
- オフショア会社とのやり取りは、ブリッジSEが電子メールとプロジェクト管理ツールを使って行 い、基本的に直接会話する事は無いものとする。また、メールによるやりとりはすべて英語で 行う。上記のフェーズ毎に問題が次々と発生する。電子メールとプロジェクト管理ツールによ る意思の疎通が図れない場合、最終手段としてTV会議システムなど直接的なコミュニケーショ ンツールを使用して問題解決に取り組む。
- 1フェーズ当たり4つの問題(インシデント)に対処する。各インシデントが完了した時点で、プロジェクトの健全性と個々の学生の理解度を評価する。特に個々の学生の理解度評価は、学生相互の評価も実施する。
- ☆師の役割は、顧客担当者及び、オフショア会社リーダー、元請側プロジェクト管理者として実習 に参加する。また総時間数は16週間(160時間)で、5つの工程に分かれている。

3

受講にあたって







し下に各工程の授業構成を示す。

)説明会と準備(本工程:3週間=30時間)

PBL全体の進め方を理解する。

当実習で使用するプロジェクト管理ツールを準備したコンピュータに導入する。 開発プロジェクト概要を関連資料を熟読してどのような開発しているか十分に理解する。 開発中のシステムー式をグループ毎にコンピュータに導入して開発環境を準備する。 プロジェクト管理ツール及び、開発環境を十分に使える様に練習する。

)開発フェーズの実習(4週間=40時間)

- ブリッジSEが中心となり、顧客やオフショア会社から発生する様々な問題を分析して、最適な作 業指示や調整を行う。この際に気をつける点は、スケジュールに遅れが発生しない事とできる だけ不要な追加コストを発生させない事の2点になる。
- 発生する問題(インシデント)は、4件になる。インシデント1件を完了するまでの目安として、 8時間を想定しています。インシデントが完了する毎に、プロジェクトの健全性の評価と学生 の理解度の評価を実施します。プロジェクト健全性評価は、教師によって行われて結果を通知 されます。学生の理解度評価については、教師による各学生への評価と学生相互の評価の両方 が実施されます。(評価の基準について"評価方法と指標について"を参照)
- プロジェクト健全性が低い場合は、プロジェクトが存続できなくなる場合もある。プロジェクト が存続できなくなった場合は、次フェーズに移る際にプロジェクトのスコアがO点にリセット されます。(プロジェクト健全性について"評価方法と指標について"を参照)
- 各インシデントへの対応結果から常にプロジェクト健全性が変化する為、現状に対して適切に対 処する事が求められる。



③結合テストフェーズの実習(4週間=40時間)

- ・グループ内でブリッジSEと共同作業者の立場を交代して実施する。
- ・実習の進め方は、前述の②と同様になる。
- ④納品フェーズの実習(4週間=40時間)
- ・グループ内でブリッジSEと共同作業者の立場を交代して実施する。
- ・実習の進め方は、前述の②と同様になる。

⑤成果発表(1週間=10時間)

・最終発表のプレゼンテーションの準備をする。発表内容は下記の通りとする。

- (1) ブリッジSEの役割を経験して、どのような結果となったか? また難しかった点と 得られた経験は何か? 更に自分なりに工夫した点は何か?
- (2)もう一度ブリッジSEを行うとした場合、事前にどのような準備をして、どのような 事を考慮して問題に取り組むか?
- (3) 共同作業者の役割を経験して、どのような結果となったか? またどのようにブリッジSEを補佐したか?
- (4) 今回使用したプロジェクト管理ツールが使えなかったとしたら、どのようにしてオフショア会社を管理するかを答えなさい。
- (5)これまで経験したシステム開発とオフショア開発では、何が異なっているか?
- ・最終プレゼンテーションの実施とフィードバック
- 教師によるプロジェクト健全性の遷移と、学生個々の理解度評価の最終評価の発表
- ・この実習全体を通しての総括

受講にあたって

7

3. PBLの進め方

詳細は、各工程向けの課題説明で示しますが、全般的な進行の概要は下記の通り。

①課題内容の予習

- ・事前に配布されたドキュメントを熟読し理解しておく。
- ②実習環境の整備
- ・実習する為のプロジェクト管理ツールと、システム検証用開発環境をコンピュータ上に構築して、問題無く使える様に操作方法を学ぶ。

③課題説明

・各工程毎に実習内容の説明を行います。

・最初に2~3名1組でグループを編成し、1名のブリッジSEと共同作業者の役割を決める。

- ④実習の開始(フェーズ単位)
- ・各グループ毎に発生したインシデントに対して実習を進めて行く。
- ・ブリッジSEを中心に作業を分担して検証や調査を行いオフショア会社とやり取りを進める。
- ・1つのインシデント完了した時点で、教師がプロジェクト健全性を評価して発表する。健全性の数値により、プロジェクトの現状が5段階(順調←→破綻)で評価される。また教師及び学生相互に理解度を評価して発表する。
- 4つのインシデントを完了するとフェーズが終了して、次のフェーズに進む。学生は役割を交代して、発生するインシデントへの対応を実習する。

⑤成果発表会

・全フェーズのインシデントが完了した後、これまでの作業を振返って成果発表を行う。



^{*}ロジェクト健全性の評価とは、今携わっているプロジェクトがどのような状態になっているかを 示す値を指します。

な師によって一定の指標に従って評価され、100%(問題無し)~0%(破綻)までの数値で判定される。

90%以上 …プロジェクトが全く問題無い状態。このまま健全性を維持する。(快晴) 70%以上 …プロジェクトが健全な状態。健全性を落とさない様に努力する。(晴れ) 50%以上 …プロジェクトが少し滞っている状態。健全性をあげる努力が必要。(曇り) 30%以上 …プロジェクトが破綻寸前の状態。早急で大幅な立て直しが必要。(雨) 29%以下 …プロジェクトがすぐにでも破綻する状態。少しでも延命を考える。(雷雨)

▶フェーズの終わり時点(4インシデント完了時)でプロジェクト健全性の評価が29%以下の場合、 『価値=0%にリセットされて、次のフェーズが開始される。上記以外の場合は、前フェーズの評価値が次 フェーズに引き継がれて評価される。

9

り、プロジェクト健全性の評価の詳細は、"評価方法と指標について"を参照。

受講にあたって



¹生の理解度評価とは、インシデント完了のたびに現在の役割をどれくらい理解して実習を行う事ができたかを評価する。この評価は教師による評価と学生相互の評価の両方を合わせて最終的な評価として判断される。

- インシデントあたり25点満点にて評価され、各フェーズのインシデント毎の評価を合計し、最終的に300点満点での評価となる。
- う、学生の理解度評価の詳細は、"評価方法と指標について"を参照。

説明会と実習環境構築 課題説明

第1週~3週目

説明会と実習環境構築 課題説明



<< 課題 >>

- ・教師より当授業の目的と進め方の説明を受ける。
- ・当授業に関する必要なドキュメントの配布を受け、その内容を熟読し理解する。
- ・手順書に従って実習環境を構築する。
- ・実習環境でインストールされた各種ツールの使い方を学ぶ。

<< 盛り込む内容 >>

- (1)対象となるシステム開発プロジェクトを理解して、グループと役割を決める。
- ・要員構成 学生側:ブリッジSE (グループリーダー)、共同作業者 (メンバー) 教師側:オフショア会社側リーダー、顧客の担当者、プロジェクト全体の管理者

(2) 実習環境の構築と使い方の学習

- ・検証環境 構築手順書に従って開発環境を構築する。
- ・管理ツール環境 構築手順書に従ってプロジェクト管理ツール環境を構築する。
- ・上記管理ツール(有料)を利用できない場合の次善策を検討する。無料ツールを組合せて構築で きるかを検討する。
- ・プロジェクト管理ツールを使ってどのような管理ができるか、またどうやってオフショア会社 側と意思を疎通させるかを考えながら使い方を学習する。



<< 盛り込む内容 >>

(3)評価と指標について理解する。

この実習では、2種類の評価を常に行いながら実習する事を理解する。 ①プロジェクト健全性の評価 ②学生の理解度評価 "評価方法と指標について"資料を熟読して、それぞれの評価方法と指標を理解する。

説明会と実習環境構築 課題説明

インシデントと作業の評価 課題説明

開発フェーズ	第4週~ 7週目
結合テストフェーズ	第8週~11週目
納品フェーズ	第12週~15週目

インシデントと作業の評価 課題説明

進め方

<< 課題 >>

- オフショア会社や顧客から発生するインシデントがメールで届く、内容を良く理解して対応を行う。共同作業者と一緒に調査や検証を行い得られた結果もとにブリッジSEが次の作業指示や結果の通知などをプロジェクト管理ツールに登録する事をインシデントの完了まで行う。
- 1つのインシデントを完了するまでの時間の目安を8時間とする。

<< 盛り込む内容 >>

①インシデント内容の把握

発生した問題は、英文のメールにて届くので、まず日本語への翻訳を行う。翻訳作業は Googleなどの翻訳ツールを利用した方が効率良く翻訳できる。翻訳した内容の意味を正 しく把握できるまで繰り返す。

②対応作業の洗い出しと、作業の分担

- ブリッジSEは問題の内容を理解した上で、どのような作業が必要かを洗い出し、共同作業者 とどのように作業分担して対応するかを決める。
- オフショア側に対する作業指示を出す際、次の点を考慮する。
 - ア. 出来るだけ追加のコストが発生しない様に考える
 - イ.現在のスケジュールに大幅な変更が発生しない様に考える
 - ウ.指示した作業が確実に実施された事を確認しながら進める



<< 盛り込む内容 >>

- ③元請会社側の調査や検証を実施
 - 決定した元請会社側で行う作業内容に従って、ブリッジSEと共同作業者で調査や検証を行い、 結果をまとめる。

④オフショア会社への指示内容を決めて翻訳

まず、オフショア側に指示する内容を日本語で作成し、Googleなどの翻訳ツールを利用して 英文を作成する。この際、作成した英文をもう一度翻訳ツールにかけて、変換された日 本語に不自然さが無い事をチェックすると英文の完成度が高くなる。

⑤回答の登録

ブリッジSEが、翻訳した内容をプロジェクト管理ツールに登録する事でオフショア側に指示 が通知される。

回答の内容によっては、更に問合せや作業を実施した結果が届くので対応する。

- インシデントへの対応が完了するまで、上記の作業を繰り返す。
- もし、プロジェクト管理ツールとメールでのやりとりで作業が進まない場合、TV会議システムなどを利用して直接オフショア側と会話する。この場合、日本語でのやり取りを許可するが、理解度の評価に影響する事がある。

3

インシデントと作業の評価 課題説明

進め方

<< 盛り込む内容 >>

⑥インシデント完了後のプロジェクト健全性評価

1つのインシデントが完了した時点で、教師からプロジェクト健全性の評価が発表される。 ブリッジSEは、プロジェクト健全性の評価数値が常に50%以上となるようにプロジェ クトをコントロールする。

⑦学生の理解度評価と作業結果の発表

教師、ブリッジSE及び共同作業者は、個々の学生に対する評価をチェックシートを使用して 行う。この時、学生同士も相互に相手の評価を行う。 評価の結果を踏まえて、当インシデントの作業結果を振返って発表する。

発表する際の考慮点は下記の通り。

- ア.指示した作業に対してオフショア側を適切にコントロールできたか
- イ.自分の役割を適切にこなす事ができたか
- ウ.コストとスケジュールを常に意識して作業を行えたか
- エ.次のインシデントに対応する際にどのような事に気をつけるか

※それぞれの評価と指標の詳細については、"評価方法と指標について"を参照。

進め方

<< 盛り込む内容 >>

- ⑧フェーズ終了時の評価と次フェーズの準備
 - 上記⑦の発表を通常通り行なった後に、ブリッジSEは、4つのインシデントを完了するとそのフェーズを終了する事ができる。
 - 4つ目のインシデントを完了した時点で、教師から当フェーズ全体としてプロジェクト健全 性の評価が発表される。評価結果が30%以上の場合、その評価結果を次のフェーズに 引き継ぐ事ができるが29%以下の場合は、評価結果=0%にリセットされて次フェー ズに移る。
 - 1つのフェーズが終了した後に、ブリッジSEと共同作業者の役割を交代して、次のインシデント発生に備える。
 - インシデント毎のプロジェクト健全性の評価及び、各学生の理解度の評価については、プロ ジェクト管理ツール内に登録され、状況の変化を確認する事ができる。

5

インシデントと作業の評価 課題説明



課題説明

第16週目

成果発表 課題説明

進め方

<< 課題 >>

- 第1週目から15週目までに学んだ内容を振返って、プレゼンテーション資料を 作成して、成果発表を行う。
- ・発表を聞く側の学生は、発表者に対して肯定的なフィードバックを必ず行う。
- 教師からプロジェクト全体の健全性評価を発表する。
- 教師から学生毎に理解度に関する最終評価を発表して、総括を述べる。

<< 盛り込む内容 >>

①最終発表のプレゼンテーション資料の内容は下記の通りとする。

- (1) ブリッジSEの役割を経験して、どのような結果となったか? また難しかった点と 得られた経験は何か? 更に自分なりに工夫した点は何か?
- (2) もう一度ブリッジSEを行うとした場合、事前にどのような準備をして、どのような 事を考慮して問題に取り組むか?
- (3) 共同作業者の役割を経験して、どのような結果となったか? またどのようにブリッジSEを補佐したか?
- (4) 今回使用したプロジェクト管理ツールが使えなかったとしたら、どのようにしてオフショア会社を管理するかを答えなさい。
- (5) これまで経験したシステム開発とオフショア開発では、何が異なっているか?



<< 盛り込む内容 >>

②成果発表は、発表者1人あたり20分間とし、発表後の質疑応答を10分間とする。
 ③聞いていた学生が発表者に対するフィードバックを行う。(1人あたり5分程度)
 ④教師によるフィードバックと、プロジェクト健全性の最終評価を発表する。

3

⑤教師から各学生の理解度に対する最終評価の発表する。

⑥教師が実習全体を通しての総括をする。

成果発表 課題説明

JIRA、Confluence サーバ構築手順書

目 次

1	導入	の準備	••••• 3
2	JDK	PostgreSQL Apache インストール	••••• 4
3	製品	インストール	
	3. 1	JIRA のインストール	••••• 10
	3. 2	Confluence のインストール	••••• 11
4.	製品	のセットアップ	
	4. 1	JIRA のセットアップ	••••• 14
	4. 2	Confluence のインストール	••••• 15

1. 導入の準備

1.1.導入の準備

製品	ファイル名	ダウンロード先
Confluence	Atlassian-confluence-4.3.1-x 64.bin	http://www.atlassian.com/download/
日本語化	Confluence-4.3.1-language -pack-ja_JP.jar	https://translations.atlassian.com/dashb oard/download?lang=ja_JP#/Confluence/4.3 .1
IPA フォン ト	IPAfont00303.zip(19.1 MB)	http://ossipedia.ipa.go.jp/ipafont/index .html

製品	ファイル名	ダウンロード先
JIRA	atlassian-jira-5.1.6-x64.	http://www.atlassian.com/download/
	bin	
日本語化	IRA-5.1.6-language-pack-j	https://translations.atlassian.com/dashb
	a_JP. jar	oard/download?lang=ja_JP#/JIRA/5.1.6

製品	ファイル名	ダウンロード先
java	jdk-6u34-linux-x64-rpm.bi	http://www.oracle.com/technetwork/java/j
	n	avase/downloads/jdk6-downloads-1637591.h
		tml
PostgreSQL	postgresql-9.0.10.tar.gz	http://www.postgresql.org/ftp/source/v9.
		9. 10/

2 JDK & PostgreSQL & Apache インストール

2.1.JDK のインストール

jdk-6u34-linux-i586-rpm.bin

インストールします。

chmod +x jdk-6u34-linux-i586-rpm.bin
./jdk-6u34-linux-i586-rpm.bin

● /etc/bashrc を編集し、下記を追記します。

export JAVA_HOME=/usr/java/jdk1.6.0_34

2.2.PostgreSQL のインストール(ソース版)

postgresql-9.0.10 .tar.gz

● ファイルを解凍します。

#gunzip postgresql-9.0.10.tar.gz
tar xvf postgresql-9.0.10.tar

● 必要なものを yum でインストールします。

yum install gcc readline-devel ncurses-devel zlib-devel

● Make します。

./configure# gmake# gmake install

● postgres ユーザーを作成ます。

adduser postgres

● データディレクトリを作成します。

mkdir /home/atlassian/pgsql
chown postgres /home/atlassian/pgsql

● postgres ユーザーでログインし、データベースを初期化します。

su - postgres
/usr/local/pgsql/bin/initdb -D /home/atlassian/pgsql --no-locale

● データディレクトリを作成します。

mkdir /home/atlassian/pgsql
chown postgres /home/atlassian/pgsql

設定ファイルの修正

/home/atlassian/pgsqlのpostgresql.confを下記のように編集します。

listen_addresses = 'localhost' shared_buffers = 512MB work_mem = 4MB wal_buffers = 64kB

 /home/atlassian/pgsql/pg_hba.confを下記のように修正して host 接続の認証方式 をパスワード認証(md5)にします。

修正前 host	all	all	127. 0. 0. 1/3	32	ident
修正後 host	all	all	127.0.0.1/32	md5	

● postgres ユーザーでログインし、データベースを初期化します。

su - postgres
/usr/local/pgsql/bin/initdb -D /home/atlassian/pgsql --no-locale

サービス化

/etc/rc.d/init.d/に postgresql でサービスを作成します。下記をコピーしてください。

#! /bin/sh # chkconfig: 345 84 16 # description: PostgreSQL RDBMS # This is an example of a start/stop script for SysV-style init, such # as is used on Linux systems. You should edit some of the variables # and maybe the 'echo' commands. # # Place this file at /etc/init.d/postgresql (or # /etc/rc.d/init.d/postgresql) and make symlinks to /etc/rc.d/rc0.d/K02postgresql # # /etc/rc.d/rc1.d/K02postgresgl # /etc/rc.d/rc2.d/K02postgresql # /etc/rc.d/rc3.d/S98postgresql /etc/rc.d/rc4.d/S98postgresgl # # /etc/rc.d/rc5.d/S98postgresql # Or, if you have chkconfig, simply: # chkconfig --add postgresql # # Proper init scripts on Linux systems normally require setting lock # and pid files under /var/run as well as reacting to network # settings, so you should treat this with care. # Original author: Ryan Kirkpatrick <pgsql@rkirkpat.net> # \$PostgreSQL: pgsql/contrib/start-scripts/linux,v 1.8 2006/07/13 14:44:33 petere Exp \$ ## EDIT FROM HERE # Installation prefix

```
prefix=/usr/local/pgsql
# Data directory
PGDATA="/home/atlassian/pgsgl"
# Who to run the postmaster as, usually "postgres". (NOT "root")
PGUSER=postgres
# Where to keep a log file
PGLOG="$PGDATA/serverlog"
## STOP EDITING HERE
# The path that is to be used for the script
PATH=/usr/local/sbin:/usr/local/bin:/sbin:/bin:/usr/sbin:/usr/bin
# What to use to start up the postmaster (we do NOT use pg_ctl for this,
# as it adds no value and can cause the postmaster to misrecognize a stale
# lock file)
DAEMON="$prefix/bin/postmaster"
# What to use to shut down the postmaster
PGCTL="$prefix/bin/pg_ctl"
set -e
# Only start if we can find the postmaster.
test -x $DAEMON || exit 0
# Parse command line parameters.
case $1 in
  start)
        echo -n "Starting PostgreSQL: "
        su - $PGUSER -c "$DAEMON -D '$PGDATA' &" >>$PGLOG 2>&1
        echo "ok"
        ;;
  stop)
        echo -n "Stopping PostgreSQL: "
        su - $PGUSER -c "$PGCTL stop -D '$PGDATA' -s -m fast"
        echo "ok"
        ;;
  restart)
        echo -n "Restarting PostgreSQL: "
        su - $PGUSER -c "$PGCTL stop -D '$PGDATA' -s -m fast -w"
        su - $PGUSER -c "$DAEMON -D '$PGDATA' &" >>$PGLOG 2>&1
        echo "ok"
  reload)
        echo -n "Reload PostgreSQL: "
```

```
su - $PGUSER -c "$PGCTL reload -D '$PGDATA' -s"
echo "ok"
;;
status)
su - $PGUSER -c "$PGCTL status -D '$PGDATA'"
;;
*)
# Print help
echo "Usage: $0 {start|stop|restart|reload|status}" 1>&2
exit 1
;;
esac
exit 0
```

● サービスを登録します。

chmod 755 /etc/rc.d/init.d/postgresql# chkconfig --add postgresql# chkconfig --level 35 postgresql on# chkconfig --list | grep postgresql

```
データベース作成、ユーザー作成
```

● サービスを起動したら、postgres ユーザーでデータベースにログインします。

su - postgres
/usr/local/pgsql/bin/psql

● 各製品のデータベースおよびユーザーを作成します。

```
psql (9.0.10)
Type "help" for help.
```

postgres=#

create role *ユーザー名* PASSWORD '*パスワード*' createdb login; create database ***DB** 名* owner *ユーザー名* template=template0 encoding='utf-8';

2.3.Apache 設定

Server version は Apache/2.2.3 以降を推奨しています。

● インストールします。

yum install httpd

/etc/httpd/confのhttpd.confを下記のように追記します。

Include conf/extra/httpd-proxy.conf

● 設定ファイル保存用のフォルダを新しく作成します。

mkdir /etc/httpd/conf/extra

 /etc/httpd/conf/extra/に httpd-proxy.conf ファイルを作成し、下記をコピーして ください。

ProxyRequests Off ProxyPreserveHost On ProxyPass /jira ProxyPassReverse /jira ProxyPass /wiki ProxyPassReverse /wiki	http://localhost:8080/jira http://localhsot:8080/jira http://localhost:8090/wiki http://localhost:8090/wiki	
<location jira=""> Order allow,deny Allow from all </location> <location wiki=""> Order allow,deny Allow from all </location>		

3 製品インストール

3.1.JIRA のインストール

参考リンク:

http://www.ricksoft.jp/document/pages/viewpage.action?pageId=111149058

atlassian-jira-5.1.6-x64.bin

インストールディレクトリ	/opt/atlassian/jra
データディレクトリ	/home/atlassian/application-data/jira

● インストールします。下記のコマンドを実行して下さい。

chmod u+x atlassian-jira-5.1.6-x64.bin
./atlassian-jira-5.1.6.x64.bin

● 案内に従いながらインストール作業を続けてください。

```
Unpacking JRE ...
Starting Installer ...
This will install JIRA 5.1.6 on your computer.
OK [o, Enter], Cancel [c]
Choose the appropriate installation or upgrade option.
Please choose one of the following:
Express Install (use default settings) [1], Custom Install (recommended for
advanced users) [2], Upgrade an existing JIRA installation [3, Enter]
  ※2 を入力して Enter を押してください。
2
Where should JIRA 5.1.1 be installed?
[/opt/atlassian/jira]
  ※インストール先を指定します。 デフォルトでよろしければ Enter を押し
てください。
Default location for JIRA data
[/var/atlassian/application-data/jira]
  ※データの保存先を指定します。デフォルトでよろしければ Enter を押し
```

てください。 ※今回は、/home/atlassian/application-data/jira にしています。 Configure which ports JIRA will use. JIRA requires two TCP ports that are not being used by any other applications on this machine. The HTTP port is where you will access JIRA through your browser. The Control port is used to Startup and Shutdown JIRA. Use default ports (HTTP: 8080, Control: 8005) - Recommended [1, Enter], Set custom value for HTTP and Control ports [2] ※ポート番号を指定します。 デフォルトでよろしければ Enter を押してく ださい。 JIRA can be run in the background. You may choose to run JIRA as a service, which means it will start automatically whenever the computer restarts. Install JIRA as Service? Yes [y, Enter], No [n] ※Enterを押すとサービスが作成され、自動起動するようになります。

● /opt/atlassian/jira/bin/の setenv.sh に追記および修正します。

export LANG=en_US.UTF-8 export JAVA_HOME=/usr/java/default JVM_MINIMUM_MEMORY="512m" JVM_MAXIMUM_MEMORY="1024m"

● /opt/atlassian/jira/conf/の server.xml を編集し、Context path を修正します。

<Context path="/jira" docBase="\${catalina.home}/atlassian-jira" reloadable="false" useHttpOnly="true">

3.2.Confluence のインストール

インストーラーがあるので簡単です。

参考リンク:

http://www.ricksoft.jp/document/pages/viewpage.action?pageId=77332564

atlassian-confluence-4.3.1-x64.bin

インストールディレクトリ	/opt/atlassian/confluence
データディレクトリ	/home/atlassian/application-data/confluence

● インストールします。下記のコマンドを実行して下さい。

chmod u+x atlassian-confluence-4.3.1-x64.bin
./atlassian-confluence-4.3.1-x64.bin

● 案内に従いながらインストール作業を続けてください。

Unpacking JRE ... Starting Installer ... This will install Confluence 4.3.1 on your computer. OK [o, Enter], Cancel [c] Choose the appropriate installation or upgrade option. Please choose one of the following: Express Install (use default settings) [1], Custom Install (recommended for advanced users) [2], Upgrade an existing JIRA installation [3, Enter] ※2 を入力して Enter を押してください。 2 Where should Confluence 4.3.1 be installed? [/opt/atlassian/confluence] ※インストール先を指定します。 デフォルトでよろしければ Enter を押し てください。 Default location for Confluence data [/var/atlassian/application-data/confluence] ※データの保存先を指定します。デフォルトでよろしければ Enter を押し てください。 ※今回は、/home/atlassian/application-data/confluence にしています。 Configure which ports Confluence will use. JIRA requires two TCP ports that are not being used by any other applications on this machine. The HTTP port is where you will access JIRA through your browser. The Control port is used to Startup and Shutdown JIRA. Use default ports (HTTP: 8090, Control: 8000) - Recommended [1, Enter], Set custom value for HTTP and Control ports [2] ※ポート番号を指定します。 デフォルトでよろしければ Enter を押してく ださい。

Confluence can be run in the background. You may choose to run Confluence as a service, which means it will start automatically whenever the computer restarts. Install Confluence as Service? Yes [y, Enter], No [n] ※Enter を押すとサービスが作成され、自動起動するようになります。

● /opt/atlassian/confluence/bin/の setenv.sh に追記および修正します。

JAVA_OPTS="-Xms512m -Xmx1024m -XX:MaxPermSize=512m \$JAVA_OPTS -Djava.awt.headless=true "

export JAVA_HOME=/usr/java/default export LANG=en_US.UTF-8

/opt/atlassian/confluence/conf/の server.xml を編集し、Context path を修正します。

<Context path="/wiki" docBase="../confluence" debug="0" reloadable="false" useHttpOnly="true">

4 製品のセットアップ

4.1.JIRA のセットアップ

参考リンク:

http://www.ricksoft.jp/document/pages/viewpage.action?pageId=111149058

セットアップ画面に従い、セットアップ作業を進めます。(参考リンクにて画像付き案内が あります。)

管理設定にて

 日本語化パッチのインストール(参考リンク: http://www.ricksoft.jp/document/pages/viewpage.action?pageId=77332576)
 1. 最新の日本語化パッチを下記からダウンロードします。

- https://translations.atlassian.com/dashboard/download?lang=ja_J P#/JIRA/5.0.1
- 2. 管理メニューにて「Plugin」をクリックします。
- 3. 画面中央右にて「Plugin Upload」をクリックします。
- 4.「1」にてダウンロードしたファイルを選択し、「Upload」します。
- 他言語対応の設定
 - 1. 管理メニューにて「システム」から「一般設定」をクリックします。
 - 2. 下までスクロールし、「設定の編集」をクリックします。
 - 3. インデックス作成言語を「中国語/日本語/韓国語」にします。
 - 4. 既定の言語を「日本語(日本)」にします。
 - 5. 既定のユーザータイムゾーンを地域「アジア」タイムゾーン 「(GMT+09:00)Tokyo」にします。
 - 6.「更新」ボタンを押します。
- 書式の設定
 - 1. 管理メニューにて「システム」から「一般設定」をクリックします。
 - 2. 下までスクロールし、「詳細」をクリックします。
 - 3. jira.date.picker.java.format を yyyy/MM/dd に修正し、更新ボタンを押 します。
 - 4. jira.date.picker.javascript.format を %Y/%m/% に修正し、更新ボタン を押します。
- アプリケーションリンクの設定
 - 1. 管理メニューにて「システム」から「一般設定」をクリックします。
 - 2. 下までスクロールし、「設定の編集」をクリックします。
 - 3. リモート API 呼び出しの応答をオンにします。
 - 4.「更新」ボタンを押します。

Plugin のインストール

参考リンク:

http://www.ricksoft.jp/document/pages/viewpage.action?pageId=77332552

※参考リンクにて画像付き案内があります。 ここでは、GreenHopperというプラグインをインストールする例です。

- 本体の入手
 - 1. GreenHopperを下記からダウンロードします。(画面中央より右の 「Download」をクリックしてください)

https://marketplace.atlassian.com/plugins/com.pyxis.greenhopper .jira

- 2. 管理メニューにて「プラグイン」をクリックします。
- 3. 画面中央右にて「プラグインのアップロード」をクリックします。
- 4. 「1」にてダウンロードしたファイルを選択し、「アップロード」します。
- ライセンスの入力
 - 1. 管理メニューにて「プラグイン」より「GreenHopper」をクリックします。
 - 2. 左メニューからライセンス詳細をクリックします。
 - 3. ライセンスキーを貼り付け、「追加」ボタンを押してください。

4.2.Confluence のセットアップ

参考リンク:

http://www.ricksoft.jp/document/pages/viewpage.action?pageId=77332553

セットアップ画面に従い、セットアップ作業を進めます。(参考リンクにて画像付き案内が あります。)

セットアップ中、**Configure Database**の **Datasource Name**は 「java:com/env/jdbc/confDS」と入力してください。

セットアップ中、**User Management Setup** は「Manage Users and Groups within Confluence」を選択してください。

管理設定にて

- 日本語化パッチのインストール(参考リンク: http://www.ricksoft.jp/document/pages/viewpage.action?pageId=77332576)
 - 1. 最新の日本語化パッチを下記からダウンロードします。

https://translations.atlassian.com/dashboard/download?lang=ja_J P#/Confluence/4.2.7

- 2. 管理メニューにて「Plugin」をクリックします。
- 3. 画面中央右にて「PluginUpload」をクリックします。
- 4. 「1」にてダウンロードしたファイルを選択し、「Upload」します。
- 5. 管理メニューにて「Language」をクリックします。
- 6.「日本語」を選択して、ログアウトしてください。
- 7. ログイン画面下部にて、日本語を選択し、ログインしてください。
- 書式と他言語対応の設定
 - 1. 管理メニューにて「一般設定」をクリックします。
 - 2. 画面右上にて「編集」をクリックします。
 - 3. インデックス作成言語を「CJK」にします。
 - 4. 時刻の書式を「HH:mm」にします。
 - 5. 日時の書式を「yy/MM/dd HH:mm」にします。
 - 6. Date Format[「]yy/MM/dd」にします。
 - 7. 画面下部の「保存」をクリックします。
- PDF 用フォントのインストール(ipag)
 - 1. 管理メニューにて「PDF エクスポート言語サポート」をクリックします。
 - 2. 「http://ossipedia.ipa.go.jp/ipafont/index.html」にてダウンロードした フォントを選択し、「Install」します。

CentOS6.3 の Confluence4.3 で文字化けしてしまう問題を修正

/opt/atlassian/confluence/jre/lib ディレクトリ内のファイルを下記のコマンドで編集してください。

#cd /opt/atlassian/confluence/jre/lib

#cp -p fontconfig.RedHat.6.0.bfc fontconfig.RedHat.6.3.bfc #cp -p fontconfig.RedHat.6.0.properties.src fontconfig.RedHat.6.3.properties.src



メールサーバ構築手順書



■ (参考資料)メーリングリスト ・・・ 12



- 構築環境
 - Linux (Cent0S5)
 - インターネット接続環境
 - Apacheの導入が完了している
 (『3.8 ソースコード管理サーバ構築手順書』の『Apacheの導入』参照)
- 設定
 - SELinuxが無効に設定されている
- ユーザ
 - root(管理者)ユーザでログインし、構築を行う

3

4

メールサーバ構築手順書



- 以下の各サーバを構築する。
 - SMTPサーバ

.

- Postfix
- IMAPサーバ
 - Dovecot
- Webメールサーバ
 - SquirrelMail



- パッケージのインストール
 - # yum install postfix system-switch-mail system-switch-mail-gnome
 - postfix ・・・ SMTPサーバ
 - system-switch-mail ・・・ MTA切り替えモジュール
 - system-switch-mail-gnome ・・・ MTA切り替えツール

5

メールサーバ構築手順書



- メールサーバの切り替え
 - # system-switch-mail

2	syst	tem-switch-mail	
х л. л.	ール転送エージ 転送 エージェン です。 ール転送エージ	ェントスィッチャはイン ハトの間でユーザーによ	ノストールされた各種 メー り簡単に切替え可能なツー
「使用可能な		エンドを選択しててたる	
	、メール 転返 - nail		
Postfix			
		× + + ++++++(C)	

 コマンドを入力するとsystem-switch-mailが起動するので "Postfix" を選択し、 OKをクリックする

SMTPサーバ構築

- Postfixの設定
 - # vi /etc/postfix/main.cf

myhostname = {ホスト名} mydomain = {ドメイン名} myorigin = \$mydomain

inet_interfaces = all

mydestination = \$myhostname, localhost.\$mydomain, localhost, \$mydomain

mynetworks = xxx.xxx.xxx.xxx/xx, 127.0.0.0/8

(xxx. xxx. xxx. xxx/xxは、接続を許可するセグメントを指定する)

Postfixの起動

- # /etc/rc.d/init.d/postfix start
- # chkconfig postfix on

7

8

メールサーバ構築手順書

IMAPサーバ構築

- Dovecotのインストール
 - # yum install dovecot
- プロトコルの設定
 - # vi /etc/dovecot.conf

```
protocols = imap
.....
mail_location = mbox:~/mail:INBOX=/var/mail/%u
```

- Dovecotの起動
 - # /etc/rc.d/init.d/dovecot start
 - chkconfig dovecot on



- SquirrelMailのインストール
 - # yum install squirrelmail
- SquirrelMailの設定
 - # vi /etc/squirrelmail/config.php

\$squirrelmail_default_language = 'ja_JP' ;
\$default_charset = 'iso-2022-jp' ;

- Apacheの再起動
 - # /etc/rc.d/init.d/httpd restart

9

メールサーバ構築手順書



- ユーザの作成
 - サーバにユーザを追加する
 - # useradd {ユーザ名}
 - ユーザにパスワードを付与する
 - # passwd {ユーザ名}
 - パスワードを2回入力する

※ここで作成するユーザのユーザ名は、Subversionで利用するユーザと同じユーザ名で作成するようにしてください ※メールアドレスは『{ユーザ名}@{ホスト名}』となる



■ 動作確認

- ブラウザより下記のアドレスへアクセス
 - <u>http://xxx. xxx. xxx. xxx/webmail</u> (xxx. xxx. xxx. xxxはサーバのIPアドレス)



※ログイン画面が表示されるので、Linuxのユーザでログインする。

11

メールサーバ構築手順書



- メーリングリストとは・・
 - 複数のアドレスに同時に同じメールを送るPostfixメールサーバのしくみ

メーリングリストの作成例

# VI /etc/allases	
-------------------	--

# Person who should get root's mail	
#root:	marc
main:	aaa,bbb,ccc
offshore:	ddd,eee
all:	aaa,bbb,ccc,ddd,eee

※このメールサーバのメールアドレスの場合、@以下を省略できる。

- 変更を反映する
 - # newaliases

上記の設定完了後、main@{ホスト名}宛にメールを送信すると、aaa@{ホスト名}, bbb@{ホスト 名}, ccc@{ホスト名}宛にメールが送られる
Sococo(TeamSpace) 構築手順書

2

Sococo(TeamSpace)構築手順書



- TeamSpaceのダウンロード ・・・ 3
- TeamSpaceのインストール ・・・ 5
- TeamSpaceのセットアップ ・・・ 9
- TeamSpaceの使い方 ・・・11



招待メールが届いたら、リンクへアクセスし、ダウンロードしてください。





- Typical Installをクリックしてください。
- インストール場所を変更などしたい場合はCustom Installをクリックして ください。

Welcome to Sococo!		- X
States -	Welcome to Sococol	
	Typical Install	
The second	Custom Install	
Las Cr		
SCOCO		
the state of the state of the		
		ei

Sococo(TeamSpace)構築手順書



■ 利用規約に同意してください。

cense Agreement	
License Agreement	
Please read the following license agreement carefully.	
Social Communications Company	^
Terms of Service	
Last Updated: June 16, 2011	
Acceptance of Terms	
↓ accept にチェックしてください。Agree	ment") are 🔻
I accept the terms in the license agreement	ケリック
○ I do not accept the terms in the license agreement	てください
<u> </u>	<u>C</u> ancel



インストールが終了するまでお待ちください。



7

Sococo(TeamSpace)構築手順書



インストールが終了しました。





■ 起動すると、アカウントの作成画面になります。

🐵 Create Your Account
Create your account
Name Keigo 名前 Hayashi 名字
Email メールアドレス Sococo doesn't spam.
Phr↓vJapan(+81)を選択します。 ● ▼ 764672038 TEL What's this for?
Password (6 to 36 characters)・パスワード
Re-type Password ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
←クリックで Create Account or Sigアカウントが作成されます。
By clicking the Create Account button above you agree to the Sococo Service and License Agreement and the Sococo Privacy Policy.

9

Sococo(TeamSpace)構築手順書



おめでとうございます。インストールが終了しました。





Sococo(TeamSpace)構築手順書





•	前提条件	3
•	Confluence、JIRA、Sococoの活用概念	4
•	プロジェクトの構成	5
•	インシデント対応の流れ	6
•	Confluenceページー覧	7
•	付録 Sococoサンプル画面	9



教材は以下の製品を使用します。

製品名	製品概要	使用方法
Atlassian Confluence	コラボレーションツール、 Wiki ツール	・ドキュメント教材の格納場所 ・国内開発(学生)内での情報共有
Atlassian JIRA	プロジェクト管理ツール	・国内開発(学生)とオフショア開発(教師) のコミュニケーション
SquirrelMail	webメール	・国内開発(学生)とオフショア開発(教師) のコミュニケーション
Sococo	コミュニケーションツール チームスペース バーチャルオフィス	・国内開発(学生)とオフショア開発(教師) の会話でのコミュニケーション

3

インシデント対応説明書(概要編)



プロジェクトを2名~3名で構成します。

各プロジェクトで以下のConfluenceのグローハルスペース、JIRAのプロジェクトを使用します。

	t sler	confluence		JIRA		
ノロシェクト名	人致	グローバルスペース	ページ名	プロジェクト	プロジェクト名	
プロジェクトA	4名まで	BitSp1	プロジェクトA スペース	Bitpj1	プロジェクトA	
プロジェクトB	4名まで	BitSp2	プロジェクトB スペース	Bitpj2	プロジェクトB	
プロジェクトC	4名まで	BitSp3	プロジェクトC スペース	Bitpj3	プロジェクトC	
プロジェクトD	4名まで	BitSp4	プロジェクトD スペース	Bitpj4	プロジェクトD	

5

インシデント対応説明書(概要編)



Confluenceページ一覧 (1/2)

○:表示 ●:表示権限変更で表示 ×:表示しない

ページ	オフショア開発(教師)	国内開発(学生)	ページ	オフショア開発(教師)	国内開発(学生)
1.課題説明	0	0	2.8 結合テスト	0	0
1.1 受講にあたって	0	0	2.8.1 結合テスト仕様書	0	0
2.開発関連	0	0	3. 開発環境関連	0	0
2.1 販売管理概論	0	0	3.1 システムアーキテクチャ説明書	0	0
2.2 情報化実施計画	0	0	3.2 ソースコード管理方法説明書	0	0
2.3 要件定義	0	0	3.3 バックアップ・リカバリ運用説明書(開 発環境用)	0	0
2.4 外部設計	0	0	3.4 国内開発環境一式	0	0
2.4.1 外部設計書	0	0	3.5 ソースコード管理サーバ構築手順書	0	0
2.4.2 課題一覧表	0	0	3.6 JIRA Confluenceサーバ構築手順書	0	0
2.5 内部設計	0	0	3.7 DB管理方法説明書	0	0
2.5.1 内部設計書	0	0	3.8 メールサーバ構築手順書	0	0
2.5.2 課題一覧表	0	0	3.9 DBサーバ構築手順書	0	0
2.6 開発・単体テスト	0	0	3.10 Tomcat構築手順書	0	0
2.6.1 プログラム	0	0			
2.6.2 単体テスト仕様書	0	0			
2.6.3 課題一覧表	0	0			
2.7 受入テスト	0	0			
2.7.1 受入テスト仕様書	0	0			

7

インシデント対応説明書(概要編)

Confluenceページ一覧(2/2)

O:表示 ●:表示権限変更で表示 ×:表示しない

ページ	オフショア開発(教師)	国内開発(学生)	ページ	オフショア開発(教師)	国内開発(学生)
4.インシデント	0	0	4.3 納品フェーズ	0	0
4.1 開発・単体テストフェーズ	0	0	≪S010∼S080	D010の内	1容と同様
D010	0	0	5.評価	0	0
D010_オフショアスペース	0	×	5.1 プロジェクト評価	0	0
D010_シナリオ1	0	×	5.1.1 資料	0	0
D010_シナリオ3	0	×	5.1.1 プロジェクト評価	0	0
D010_シナリオ5	0	×	5.2 学生向け評価	0	0
D010_シナリオ7	0	×	5.1.1 資料	0	0
D010_国内開発スペース	0	•	5.1.1 学生向け評価	0	0
D010_シナリオ2	0	•			
D010_シナリオ4	0	•			
D010_シナリオ6	0	•			
D010_シナリオ8	0	•			
D010_振り返りスペース	0	•			
※D020~D080の繰り返し	D01	0と同じ			
4.2 結合テストフェーズ	0	0			
%C010∼C090	D010の	内容と同様			





インシデント対応説明書(概要編)







インシデント対応説明書(概要編)





インシデント対応の流れ .	3
1.準備(Confluence) .	4
Confluenceユーザプロファイル設定	2
JRIAユーザプロファイル設定	
2. 課題作成メール受信(webmail)	13
3.コメント入力メール受信(webmail)	16
4.課題の開始(JIRA)	18
5.調査・情報共有(Confluence)	19
6.調査結果添付(Confluence)	20
7.コメント入力 (JIRA) .	22
8.課題クローズメール受信(webmail) 23







◆ C 18218815080/wiki/loginaction?logout=true ★ ブリッジSE育成用PBL □ ヴァウトに成功しました。 □ ジャットの □ ジャットの </th <th>→ C 192.168.150.80/wiki/lo</th> <th>in action?logout=true</th> <th></th> <th>2</th> <th>Ø</th>	→ C 192.168.150.80/wiki/lo	in action?logout=true		2	Ø
アプリッジSE育成用PBL ログアウトに成功しました。 「ユーザー&」 」ログイン情報をこのコンピューターに保存 ログイン Exter English Français 日本語					
Deutsch English Français 日本語 を入力してログインしま す		ブリッジSE育成用PBL ログアウトに成功しました。 ユーザー名 パスワード ログイン情報をこのコンピューターに保存 ログイン		13	
		ユ Deutsch English Français 日本語 さ	ーザ名、バスワー 入力してログイン	-ド しま	

X ダッシュボード		🚯 スペースの追加	パーソナル スペースの追加 最近の表示履歴	稿の追加
onfluence へようこそ	Popular All Updates Favourite Spaces Network			-+
nfluenceは、チームがコラボレーションを行い、情報を共有する場所です — ファ レ、アイデア、メモ、仕様書、モックアップ、ダイアグラム、そしてブロジェクトを作 生産 課題 ます	▲ 5.1 ブロジェクト評価 管理者 · yesterday at 19:58		お気に入り ウォッチ 下書き	
大名、 ISBN しょう めましょう	S.2.2 学生向け評価 管理者 · yesterday at 20:02 プロファイル	を選択します) 設定 日 <i>村</i> 家内ト	
1. ブロファイルの画像を選択 し、ブロファイルを更新する。 2. ユーザーを何人か登録し、Confluence を使ってみる。 3. 新しいファレファを追加、エーノックな同体電差につきたけます。エーノック				
 新しいスペースを返加し、デームと価値に来る1人なようにする。デームや これから取り組む新しいブロジェクト用にスペースを作成してみましょう。 ウェルカムメッセージを更新し、カスタマイズする。 	5.2 学生向け評価 管理者 · yesterday at 20:01			
スペース ページ ネットワーク	■ tesst 管理者 · about 2 hours ago			
クローバルスペース スペースの追加				
🗶 BitSp1 😭	 ■ 5.1.1 指標 管理者 · yesterday at 20:00 			
	● 5.評価 管理者 · 13/01/22			
	Powered by Atlassian Confluence 4.3.2, 企業向けWiki ・ バグ報告 ・ Atlassian ニュ	2		
38.150.80/wiki/users/viewmyprofile.action				
	5	インシ	デント対応説明書(国内開]発(学生)編)

1.準備 Confluenceユーザプロファイル設定(3/4)

※ ユーザー1 - 基本設定 - ブ, ×		X
← → C 🗋 pblse rve r201 2/wiki/use rs	/editmyprofilepicture.action 🏠 🙋	≡
ダッシュボード ・ユーザー ・ユーザー1 ・プロ	ファイル画像 閲覧 ▼ ユーザー1 ▼ □ Q • Confluence を検索	^
ユーザー1 ブロファイル ネットワーク お気に入り ウォ	ッチ 下書き 設定	
プロファイル 詳細 画像	ブロファイル 画像はパーソナル スペースのアイコンとして使用され、Confluence 内でユーザー 自身を表します。 独自のブロファイル 画像をアップロードするか、または標準アイコンから 1 つ 選択することができます。 プロファイル 画像の アップロード	
	ブロファイル画像のアップロード ファイルを選択 選択されていません アップロード 独自のブロファイル画像をアップロードします。画像は自動的に 46×48 ビクセルにサイズ調整されます。 プロファイル画像の選択	
画像をクリックします	● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	
		Y

- 回 メューザー1 - 基本設定 - ツ. ×	X
← → C D pblserver2012/wiki/users/editmyprofilepicture.action	
ダッシュポード → ユーザー → ユーザー1 → プロファイル画像 閲覧 ▼ ユーザー1 ▼ 🖉 Q. Confluence を検索	^
コーザー1 コロアイル 高機はパーソナル スペースのアイコンとして使用され、Confluence 内でユーザー自身を表します。独自のブロファイル 画像をアップロードするか、または標準アイコンから 1つ 選択することができます。 プロファイル画像のアップロード 画像が変更されます プロファイル画像のアップロード プロファイル画像のアップロード プロファイル画像のアップロード プロファイル画像のアップロード プロファイル画像の変更 2015 プロファイル画像のアップロード プロファイル画像の変更 2015 ジェージェード プロファイル画像の変更 2015 ジェージェード ジェージェージェード ジェージェード ジェージェージェード ジェージェージェード ジェージェージェード ジェージェージェード ジェージェージェー ジェージェー ジェージェー	
	>
	生)編

1.準備 JRIAユーザプロファイル設定(1/5) - 0 > 🕅 System Dashboard - JIRA 🗙 🦲 ☆ 🞯 🗉 ← → C 🗋 pblserver2012/jira/secure/Dashboard.jspa ŸJIRA ダッシュボード 💌 概要 ログイン JIRA をこ利用いただきありがとうございます。 JIRA へようこそーチームのプロジェクト管理や遂行をお手伝いします。 ユーザー名(U) sp1usr1 バスワード(P) -----開始する作業 JIRAの使用法に関する詳細については、JIRAユーザーガイドを参照してください。 情報を記憶させる(<u>R</u>) メンバーでない場合 を申請してください。 JIRA 管理者までご 連絡ください してアカウント ログイン 自分の7 トにアクセスできない場合 ユーザ、パスワードを入力 してログインします erver2012/jira/secure/ForgotLoginDetails.jspa

1.準備 JRIAユーザプロファイル設定(2/5)

· → C D pblserver2012/jra/secure/ViewProfile.jspa				रू 🖸
'JIRA				ユーザー1
	ブロジェクト 🔄 課題 🚽		+ 課題の作	龙 プロファイル
プロ	ファイル: ユーザー	1		マイ JIRA ホーム ・ダッシュボード 課題ナビゲーター
)	要約			オンライン ヘルプ
	言羊糸田		🖉 アクティビティ ストリー	キーホート ショートルット JIRA のバージョン情報
	アバター:	—		JIRA クレジット
			プロファイルを選択します	新機能
	ユーザー名:	sp1usr1		ログアウト
	メール:	sp1usr1@bit3.com	(変更を表示)	
	パスワード:	パスワードの変更 オペエのトーケッキクリア	■ 7/146	
	グループ:	bitstudent-grp1	1.77.2918	
		confluence-users jira-users	ユーザー1 編集 D010_シナリオ2 (変更を表示)	
		22	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	
	ユーザー設定 ―			オ215添付しました
	ページ サイズ:	50		1121000108070
	メールの形式: 言語:	1ext 日本語(日本)[既定]		
	タイムゾーン:	JIRA 既定 (GMT+09:00) Tokyo		
	自分の変更: フィルターとダッシュ ボー	自分に通知しない ド 非共有		
	の共有:	21/3/19		
r2012/iira/caou	キーボード ショートカット	: 有効	11/#/29/81/13:31	

9

インシデント対応説明書(国内開発(学生)編)

1.準備 JRIAユーザプロファイル設定(3/5)

• ▼ ユーザー ブロファイル・ユーザー ×			2
← → C C pblserver2012/jira/secure/ViewProfi	le.jspa		=
ХЛВА		ユーザー1 •	^
ダッシュボード - プロジェクト - 課題 -		+ 課題の作成 クイック検索	
👤 プロファイル: ユーザー1		尊 ツール・	
要約要約		★ フィルター・	
詳細 アパター: ユーザー名: フルネーム: メール: パスワード: ログイ/情報の記憶: グループ: ユーザー設定 ページサイズ: メールの形式: 音話: タイムワーン:	an <i>f01920にこのアパ</i> 染ーを編集します ユーザー1 SPI V1(20)13.com パスレドの変更 すべて、クンをクリア bitstude confluent jira-users 50 Text 日本。 JIRA 既定 (GMT+09:00) Tokyo	 アクティビティ ストリーム	
フィルターとダッシュボード の共有: キーボード ショートカット: ナビグーターの列:	非共有 有効 ナビゲーターの列の表示	1'月'29日'13:31	~



インシデント対応説明書(国内開発(学生)編)

1.準備 JRIAユーザプロファイル設定(5/5)

- ב-ש- לוב איי ב-ש-	×			- • X
← → C 🗋 pblserver.	2012/jira/secure/ViewProt	file.jspa		☆ 🗰 🔳
ХЛВА				ユーザー1 💌 🔷
ダッシュボード ▼ プロジェク	フト │▼ 課題 │▼		+ 課題の作成 クイックス	续秦
퇻 プロファ・	イル: ユーザー1			◎ ツール +
要約	要約			⇒ フィルター・
	言羊糸田		ℓ アクティビティ ストリーム ───	
	アバター:		水曜日	🔝 # 🔻
	ユーザー名: フル ネーム:		ユーザー1 編集 D010_シナリオ2	
	メール: パスワード:	sp1usr1t 13.com パスワード	(変更を表示) 計 水曜日 17:46	
	ログイン情報の記憶:	すべてのトー・シア	1'月'29'日'	
	-910-9.	confluence-us	ユーザー1編集 D010_シナリオ2	
		Jira-users アバターが変更されます	(変更を表示) (変更を表示)	
	ユーザー設定 ――		フーザー1はファイルを D010 シナリオ2に添付しま	=1.7-
	ページ サイズ:	50 Toxt		conc.
	言語:	日本語 (日本) [既定]		
	タイムゾーン: 自分の変更:	JIRA 既定 (GMT+09:00) Tokyo 自分に通知しない		
	フィルターとダッシュボード	非共有		
	の共有: キーボード ショートカット:	有効	11月129日113:31	
	ナビゲーターの列:	ナビゲーターの列の表示		~

インシデント対応説明書(国内開発(学生)編)



2.課題作成メール受信(webmail)(2/3)

	X X C SquirrelMail 1.4.22 X	
← → C 🗋 pblse	rver2012/webmail/src/webmail.php	☆ 🎯 ≡
フォルダ 前リフレッシュ: 土, 11:00 am (<u>メールをチェックする</u>)	現在のフォルダ 受信箱 メッセージ作成 アドレス帳 フォルダ オブション 検索 ヘルブ 全反転	<mark>ログアウト</mark> <u>SquirrelMail</u> 1 件目を表示中(1 件中)
文16相9) Drafts Sent Trash (空にする)	チェックしたものの移動 「Trash ♥ 移動」 転送	チェックしたものの状態変更:
Hush (Eleys)	差出人 日付 件名 □ オフショア(講師) (JIRA) 11:00 am [iira] (BPA-34) D010 課題一覧表の残項目の扱い	
	全反転	1 件目を表示中(1 件中)
		教師からのメールを確認します。



🕅 課題ナビゲーター – JIRA	🗛 🗙 🗅 SquirrelMail 1.4.22 🗙 💽	
← → C 🗋 pblse	rver2012/webmail/src/webmail.php	☆ 🚥 =
フォルダ 前リフレッシュ: 土、11:00 am (メールをチェックする)	現在のフォルダ: 受信箱 メッセージ作成 アドレス帳 フォルダ オブション 検索 ヘルブ	ロ <u>グアウト</u> SquirrelMail
<mark>受信箱</mark> ®) Drafts Sent Trash (空にする)	メッセージー覧 未読 削除 戻る 次へ 件名: [jira] (BPA-34)_D010 課題一覧表の残項目の扱い 差出人: オフショア(講師) (JIRA) <bitadmin@bit3.com> 日付: 2013年 2月 9日 (土) 11:00 am 宛先: sp1usr2@bit3.com 重要度: 中 オブション: </bitadmin@bit3.com>	転送 添付ファイルとして転送 返信 全員に返信
	オフショア(講師) が BPA-34 を作成しました : 	
	ー このメッセージは JIRA によって自動生成されました。 誤って送信されたと考えられる場合は、JIRA 管理者までご連絡ください JIRA の詳細については、 <u>http://www.stlassian.com/software/jira</u> を参照してください	クリックするとJIRAの課題に遷 移します。
pblserver2012/webmail/src/d	ownload php?absolute_dl=true&passed_id=166&ent_id=1&mailbox=INBOX&sort=6&startMessage=1&show_more=0&passed_en	tid=0

インシデント対応説明書(国内開発(学生)編)

3.コメント入力メール受信(webmail)(1/2)

🕅 ログアウト - JIRA	× C SquirrelMail 1.4.22 × (第 [#BPA-34] D010 課題一覧 ×	
← → C 🗋 pblser	ver2012/webmail/src/webmail.php	☆ 🞯 =
フォルダ 前リフレッシュ: 土 11:34 am	現在のフォルダ: 受信箱 メッセージ作成 アドレス帳 フォルダ オブション 検索 ヘルブ	ログアウト SquirrelMail
受信箱(1)	全反転	1 - 2 件目を表示中(2 件中)
Drafts Sent	チェックルたものの移動 受信箱 ¥ 移動 転送	チェックしたものの状態変更:
Trash (空にする)	差出人 日付 件名 コオブショア(調算)(JIRA) 11.34 am [iira](BPA-34) D010 課題一覧表の列	<u>気項目の扱い</u>
	□オフショア(講師) (JIRA) 11:00 am <u>Lira] (BPA-34) D010 課題一覧表の残項</u> 目 全反転	<u>目の扱い</u> 1 - 2 件目を表示中(2 件中)
		教師からのメールを確認しま す。

3.コメント入力メール受信(webmail)(2/2)



17

インシデント対応説明書(国内開発(学生)編)

4.課題の開始(JIRA)

ログアウト - JIRA	🗙 💙 🕒 SquirrelMail 1.4.22	× 〒(#BPA-34] D010 課題→覧 × 〒(#BPA-34] D010 課題→覧 ×		
⇒ C' 🗋 pt	alse rve r201 2/jira/browse/BPA-34			\$
RA				ユーザー1
/ュボード ▼	ブロジェクト 👻 課題 👻		+ 課題の作成 クイック検索	8
	1			
	T/BPA-34 110 理 照 —啓実の産頂	日の扱い		
	10 杯炮 見仪 77次 9			
割り当て コメ	ひト その他の操作 ▼ 処理開始	ワークフロー -		@Ĕı-*
言羊糸田			ーーー・ピープル ―	
タイプ:	◎ タスク	ステーダム・ペーオーナノ	11 光平-	
優先度:	 會 中	対応を開始するときに処理開	ユーザー1	
		解決 始を押下します	報告者:	
ラベル:	なし		オフショア(講師)	
課題リンク	i		心 投票 (0)	🙆 ウォッチ (1)
mentioned in			- 日付	
🗶 D010_シナ	-U72			
			作成日:	
アクティビラ	7 7			
		Confluenceのシナリオに遷移	更新日: 今日 11:33	
_ রুশ্ব 🗆 🗆	Aント 1作業ロク 履歴 アクティビティ			
* 2 オフシ	ョア(講師) がコメント - 2013/02/09 11:33			
Dear Mr. er2012/jira/brown	oo, e/RPA-34?page=com atlaccian streams streams	-iva-nlurinartivitu-otraam-iccus-tah		

5.調查·情報共有(Confluence)



19

インシデント対応説明書(国内開発(学生)編)

6.調査結果添付(Confluence)(1/2)

• • •	D poiserver2012/Wiki/pages/editpage.action/page10-1343833			23 📖 :
゚ッシュボード	→ BitSp1 → → D010_シナリオ2		閲覧 🔻 オフショア(講師)	🔹 🕒 🔍 Confluence を検索
D010_シ	·ナリオ2			
段落		◎リンク 回表 -	●挿入▼ □▼ ち ら	許 ?
a** ∃ _{**} ∃×	▓ ♣ 48 10 10 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11		 ■ 画像 № リンク 	
フェーズ インシデントNo インシデント名 課題リンク	開発フェーズ末期 <u>D010</u> 課題一覧表の残項目の扱い 従業 JIRA BPA-34		 添付ファイル Ω 記号(<u>添付ファイルの挿入</u>) ◎ 絵文字 ① Wiki マークアップ ホ平ルーラー 狂 Task List 	
No シナリオ	t	添付資料	@ User Mention	
1 まだ解決	していない課題の対応について質問	<u>課題一覧表.xlsx</u>	 	
2 課題一覧 但し、可	言奏を基に当フェーズで完了させるものと、次フェーズに持ち越すものを分類し通知する。 能であればすべての課題を完了する事が望ましい。	_	^四 ^{ギャラリー} 編集画面で調査 ^{20 その他のマ} 保存します	吉果を添付し、

6.調査結果添付(Confluence)(2/2)



21

インシデント対応説明書(国内開発(学生)編)





8.課題クローズメール受信(webmail)(1/2)



23

インシデント対応説明書(国内開発(学生)編)

8.課題クローズメール受信(webmail)(2/2)



オフショア開発PBLカリキュラム

インシデント対応説明書 シナリオ概要

目次

シナリオ概要について	. 1
1.フェーズ別シナリオ概要一覧	.1

シナリオ概要について

授業にて学生が対応する諸問題(インシデント)は、開発フェーズ、結合テストフェーズ及び、納品の3フェーズに分かれており、一人の学生は1フェーズ期間中、ブリッジSEとして役割を与えられています。また、1フェーズはそれぞれ4インシデントにて構成されています。フェーズ内のどのインシデントを付与されるかに関しては、教師の裁量に任されています。

1.フェーズ別シナリオ概要一覧

Phase	インシデン	インシデント名	作業	学習目標	難易度
	ŀNo.		時間		高/中/低
開発	D010	課題一覧表の残項目の	8.8h	フェーズの完了が近い中で残っている課題をどのように	高
末期		扱い		扱うかを考える。	
	D020	画面表示の漢字⊐−ドを	7.8h	開発中にシステム全体に関わる仕様変更が入った場合	中
		変更する		の対応を考える。	
	D030	進捗報告の虚偽	8.0h	フェーズ完了直前で、プログラム完成が非常に遅れて	中
				いる場合にどのような対応をするかを考える。	
	D040	開発担当者の退職	8.0h	進捗に遅れが出はじめている所で、開発担当者が急に	高
				退職し、その穴をどうやって埋めるかを考える。	
	D050	日本語・英語・中国語の	9.8h	開発完了間際での大幅な仕様追加にどのように対応す	高
		マルチランゲージ化依頼		るかを考える。	
	D060	開発言語を Java から	4.6h	客先からのアーキテクチャ変更に対する対応を考える。	低
		PHP に変更したい			
	D070	Database のセキュリティ	7.8h	課題一覧上の保留事項に対する回答として、Database	中
		を高める方策の要望提		のセキュリティ強化をどのように行うかを考える。	
		案			
	D080	スマートフォンによる入力	6.8h	客先から流行しはじめたスマートフォンを入力デバイス	中
		画面の追加要望		として使用する様に依頼された件について、どのように	
				対応するかを考える。	
結合	C010	オフショアのプログラム	10.8h	オフショアからのプログラム受入で発生する問題点につ	中
テスト		受入と動作確認		いては、考える。	
	C020	プログラムの追加開発依	9.2h	プログラムの開発が完了した後に、開発漏れによる追	中
		頼		加開発が必要になった場合の対応について考える。	
	C030	仕様書のバグによる修正	9.0h	開発の完了後に、システムの仕様漏れがある事が発覚	中
		依頼		した場合、のように開発側とやり取りをするかを考える。	
	C040	顧客による仕様変更の	8.2h	客先の都合による仕様変更が発生した場合、開発側と	高
		為の修正依頼		どのようにやり取りするかを考える。	
	C050	DBMS の変更依頼(仕様	8.0h	DBMS そのものを変更してコストを下げる事が話題とな	中
		変更)の対応		り、それに対応為の大規模な改修に対応するかどうか	

Phase	インシデン	インシデント名	作業	学習目標	難易度
	⊢No.		時間		高/中/低
				を検討するやり取りを考える。	
	C060	テスト結果のウソを指摘	5.6h	受入れたプログラムをチェックした所、バグが発見され	高
		する(実施していないテス		たが、単体テスト結果上では、OK となっている事から、	
		ト結果がある)		テスト結果の信憑性を問う。	
	C070	当システムと関係のない	5.6h	納品一覧に記載されていないソースが大量に含まれて	中
		ソースの混入		いる事が発覚し、その対応を行う。	
	C080	プログラム修正の影響が	9.8h	最初の納品後に、一部修正を完了したソース数本の	低
		他の関連プログラムで発		みを追加納品を受取り、関連する他のプログラム側で	
		生		問題が発生した際の対応を考える。	
	C090	結合テスト完了後に共通	8.2h	結合テストをすべて完了した後に、共通モジュールの	中
		モジュールの入替作業が		一部に仕様変更が必要な事が発生した。また、すべて	
		発生		の共通モジュールのコメントを正しく合わせる必要が発	
				生した際の慎重な対応を依頼する事を考える。	
納品	S010	納品用ソースのコンパイ	8.2h	納品用として Close されたソースをコンパイルした所、エ	高
時点		ルが通らない		ラーが発生した為、ソース全体を総点検して、納品準備	
				を確実に行う為の方法を考える。	
	S020	納品用ソースに他社向け	10.0h	納品準備でソースプログラムをチェックした所、納品ソー	中
		のソースが混入		ス一覧に載っていないプログラムが見つかり、別プロジ	
				ェクトのソースが混入している事がわかった。修正を依	
				頼すると共に再発防止の対策を考える。	
	S030	納品用ソースー式に正し	6.6h	客先納品用ソースにデバッグコードが含まれている事	低
		くないソースが混入する		がわかり、全ソースの再チェックと関連するプログラム	
				の再テスト実施し、納品物の品質を高める為の作業に	
				ついて考える。	
	S040	納品後にバグがあり、修	6.6h	客先への納品後のバグが発生した場合の対応方法を	低
		正部分を含めてバージョ		学び、プログラムの信頼性向上の為の方策を考える。	
		ンを上げて対応する			
	S050	納品前にオフショア会社	10.0h	今回オフショア開発を取り纏めている会社から、実際に	高
		が倒産した場合の対応		開発を行っていたソフトウェア会社が倒産して、音信不	
				通になってしまったとの報告があり、どのように収拾を	
				つけるかを考える。	
	S060	対応ブラウザとして、Mac	8.0h	納品後に客先から Mac への対応状況を確認され、実	高
		の Safari を追加してテス		機での動作確認テストを行うかどうかの判断をする。	
		トする事を依頼			

オフショア開発PBLカリキュラム

インシデント対応説明書 評価方法と指標について

目次

1. プロジェクト評価と指標	1
○5つの評価項目:	1
○6つの指標:	1
2. 学生向け評価と指標	4
○ブリッジ SE 担当者向け評価項目(5 項目)	4
〇一般 SE 担当者(共同作業者)向け評価項目(5項目)	4
〇学生に対する評価の指標	5

評価方法と指標について

授業にて学生が対応する諸問題(インシデント)は、開発フェーズ、結合テストフェーズ及び、納品の3フェ ーズに分かれており、一人の学生は1フェーズ期間中、ブリッジSEとして役割を与えられています。また、 1フェーズはそれぞれ4インシデントにて構成されています。 当授業では、運営しているプロジェクトの健 全性の評価と、学生個人毎の役割に応じた評価の2つの評価を常時判定しながら進めていきます。

1. プロジェクト評価と指標

授業で実施されるプロジェクトは、開発及び、結合テスト、納品のフェーズ毎に各々4つのインシデントに 対処する事を求める形式となっており、1インシデント=25点として、各フェーズ=100点を満点としま す。

プロジェクト評価の得点は、開発フェーズからはじまり、結合テストフェーズ、納品フェーズと得点を重ね ていく事で、最終的に300点満点とします。 ただし、フェーズが代わる毎にブリッジSEを担当する学生 は交代されるものとします。 1インシデント(満点=25点)の得点は、教師の主観にて決定されますが、下 記の5つの評価項目を6段階指標(0~5点)で採点します。

05つの評価項目:

1.	目的の理解度	…インシデントで要求されている事は何でどのような結果を求められているか
		について正確に把握できているかどうか。

- 2. 作業指示の的確さ …オフショア側への作業指示が分かりやすく、的確に行われているかどうか。
- 3. **回答の的確さ** …オフショア側からの質問に的確に答えているか、また必要以上に時間が かかっていないかどうか。
- 4. **学生側調査の正確**さ…元請側で学生が調査する内容に関して正確な調査を行っているか、また 必要以上に時間がかかっていないかどうか。
- 5. 目的の達成度 …インシデントが要求している目的を達成しているかどうか。

06つの指標:

- 評価=5(最も高い)…評価項目を理解した上で実施し、目的通りの結果を得る事ができる。
 - 4 …評価項目を理解して実施し、目的に対して80%の結果を得る事ができる。
 - **3** …評価項目を理解して実施し、目的に対して60%の結果を得る事ができる。
 - 2 …評価項目を概ね理解して実施し、目的に対して40%の結果を得る事ができる。
 - 1 …評価項目をほとんど理解しないで、作業の統制が取れていない。
 - 0(最も低い) …全く評価項目を理解しておらず、作業が先に進まない状態。

各フェーズ内でインシデント終了毎にプロジェクト評価を行うので合計4回評価されます。 インシデント 毎に最高得点が異なります。 各インシデントの得点は、基本点を最高で25点とし、更に教師裁量による加 算点を最高で10点まで認めるものとします。 加算点とは、学生が努力して非常に良くインシデントに対応した場合に付与するボーナス点とします。 但 し、基本点+加算点の合計が各インシデントの満点値を超さない範囲で得点を付与するものとします。 この 加算点を教師側でコントロールする事により、プロジェクトを破綻状態から急激に回復する事ができる可能性 が生まれます。 これによりプロジェクトの評価が悪い場合でも生徒の授業に対するモチベーションを高く維 持する事が可能になります。

○フェーズ毎とインシデント毎の満点値

開発フェーズ	第1インシデント終了時	25点満点
	第2インシデント終了時	50 点満点
	第3インシデント終了時	75点満点
	第4インシデント終了時	100点満点
結合テスト	第1インシデント終了時	125 点満点
	: :	
	第4インシデント終了時	200 点満点
納品時点	第1インシデント終了時	225 点満点
	: :	
	第4インシデント終了時	300 点満点

プロジェクトの健全性の評価は、各インシデントの満点に対して、どれくらいの得点比率になっているかによって判断します。フェーズが完了した時点で、得点比率=20%以下の場合は、プロジェクトが破綻したものとして、得点=0点になってプロジェクトがリセットされたと判断して、次フェーズへの得点の持ち越しは無くなります。

○プロジェクト健全性の評価指標は下記の通りとします。

とします)	獲得した得点÷当該インシデントの満点値×100 (但し、小数点以下は切上げ	=	导点比率
(快晴)	♀ 9 0 % …プロジェクトが全く問題無い状態。このまま健全性を維持する。	\geq	得点比率
(晴れ)	≧ 70% …プロジェクトが健全な状態。健全性を落とさない様に努力する。	\geq	得点比率
(曇り)	≦ 50% …プロジェクトが少し滞っている状態。健全性をあげる努力が必要。	\geq	得点比率
(雨)	😫 30% …プロジェクトが破綻寸前の状態。早急で大幅な立て直しが必要。	\geq	得点比率
(雷雨)	≧ 0% …プロジェクトがすぐにでも破綻する状態。少しでも延命を考える。	≧	得点比率

プロジェクト評価の例

- ア. 開発フェーズ終了時に得点=70点の場合
 開発フェーズの満点は100点なので、得点比率=70点÷100点×100=70%
 よって、プロジェクトの状態は、健全な状態(晴れ)となります。
- イ. 結合テストフェーズの第2インシデント終了時に得点=80点の場合
 この時点の満点は150点なので、得点比率=100点÷150点×100=54%
 よって、プロジェクトが少し滞っている状態(曇り)となります。

ウ. 結合テストフェーズ終了時に得点=55点の場合
 結合テストの満点は200点なので、得点比率=55点÷200点×100=28%
 よって、プロジェクトが破綻している状態(雷雨)なので、次の納品時点フェーズへの得点の持ち越し
 =0となります。その為、納品時点フェーズの得点計算は、満点=100点として行います。

プロジェクト健全性の評価結果は、プロジェクト管理ツール上で、下記の様にインシデント単位に逐次表示 します。



2. 学生向け評価と指標

受講している学生に対する個々の評価は、下記のそれぞれの項目毎に各5段階で行います。 教師はインシ デント毎に学生が受持った役割の評価項目単位に6段階で評価します。 1インシデントあたり、評価項目= 5点x5種類、合計=25点満点とします。 プロジェクトのフェーズ毎に学生は受持った役割で上記のイン シデントを4回実施する為、25点x4インシデント=100点を持ち点とします。 また、学生向け評価は 学生間の相互評価も上記の基準で同様に行い、教師の評価に加えて学生間の相互評価を30%程度加算して、 最終的な評価とします。

例)ある1インシデントが、教師による評価合計=20点、学生の相互評価平均値=15点の場合、

$20 \pm x70\% + 15 \pm x30\% = 18.5 \pm$

として、該当インシデントの評価を算出します。

〇ブリッジ SE 担当者向け評価項目(5項目)

- 理解力 …現状の問題点をすばやく理解する力。理解できない場合は、どうすれば理解で きるかを考える力。
- 2. 問題解決力 …問題点を解決する為に最も効率の良い手段や方法を見つける力。

コミュニケーション力…問題解決実施する為の方法を相手に円滑に伝える力。関係がこじれそうな時に
 関係を修復できる力。インシデント終了時のプレゼンテーションの評価を含む。

- 4. 指導力(遠隔) …オフショア側(遠隔地)の作業者に分かりやすく内容を伝える力。相手がわかって いるか、いないかを的確に見分ける力と方法を持っている。
- 5. 指導力(直接) …一緒に作業している担当者に対して分かりやすく作業内容を伝える力。 作業者が問題を抱えているか、適切に作業しているかを見分ける力。

〇一般 SE 担当者(共同作業者)向け評価項目(5項目)

- 1. 指示内容の理解力 …ブリッジSEから指示された作業を理解する力。理解できない点について確認 する力。
- 作業の正確さ …指示された作業を正確に確実に実行して結果を出す力。作業指示上で生じた 疑問をある程度推測して自己解決できる。
- 報告の正確さ …指示された作業の実施結果を正確に報告できる力。指示された作業で疑問に思った事を質問して、正しい回答を得る事ができる。インシデント終了時のプレゼンテーションの評価を含む。
- 協調性 …共同作業を円滑に行う為に気を配る事ができる力。他の作業者が行っている作業 についてもある程度理解して自分の作業を実施する。
- 5. 応用力 …以前に指示された内容と同様な状況において、今回の状況に当てはめて作業を実施する力。

※ 前頁の各項目を5段階で判断する基準は主観的なものになるが、おおよそ下記の判断基準とする。

〇学生に対する評価の指標

学生の評価に使用する指標は下記の通りです。

評価=5(最も高い)…評価項目を理解した上で実施し、目的通りの結果を得る事ができる。

- 4 …評価項目を理解し実施しているが時間が多くかかり、稀に望まない結果になる。
- 3 …評価項目を概ね理解して作業を実施し、50%の確率でうまく行かない。
- 2 …見よう見まねで作業を実施して、本質を理解していない。
- 1 …共同作業者に助けられながら、何とか作業をこなしているが理解していない。

0(最も低い) …全く作業内容を理解しておらず、成果物を全く提出できていない。

個々の学生に対する理解度の評価は、プロジェクト管理ツール上で下記の様にインシデント単位に逐次表示 されます。



〇学生の評価と理解度について(参考)

最終的な学生一人一人の評価は、作業の役割を交代しながら各フェーズにて取得した得点の合計点を積 み上げて、100点満点での比率に換算したものを基準に合わせて判定します。学生が当カリキュラム の学習目標を達成していると判断する基準は、50点(100点満点中)以上とします。

以 上

平成24年度 文部科学省

成長分野等における中核的専門人材養成の戦略的推進事業

オフショア開発PBL 学生用課題説明書

平成25年3月

ブリッジ SE の中核的専門人材養成のための実践的カリキュラムの構築推進プロジェクト (代表校:学校法人浦山学園)

> 連絡先:〒939-0341 富山県射水市三ケ576学校法人浦山学園 富山情報ビジネス専門学校 電話:0766-55-1420

*本書の内容を無断で転記、記載することは禁じます。